



## 総合的な学習の時間

校長 田名部 和美

「総合的な学習の時間」は学校教育目標と直接的な関係をもつ時間として位置付けられています。そして、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標としています。本校でも、3年生以上の学年は、それぞれの学級で、目標を実現するにふさわしい探究課題を定め、その解決を目指した学習を進めています。自分たちの日常生活や社会との関わりに目を向け、自分たちで課題を立て、情報を集め、整理・分析して、表現する活動を続けてきました。

3年生は、本校で土曜日に行われている市民図書に目を向けました。「市民図書を学校のみならずまちの人にもっと利用してもらい、読書のよさを伝えたい」こんな思いからのスタートです。ポスターを掲示して校内に広めたり、市民図書に参加してイベントを企画実行したりしました。活動が進むにつれうまくいかないこともありましたが、アイデアを出し合い協力して活動していくことで、市民図書を利用する方が増えていったことは、子どもたちの充実感につながったことでしょう。



5年生では「輝け!花のステージやすらぎ大作戦!」をテーマに、「花のステージ」を整えることにしました。技術員さんの力を借りて草取りから始め、花いっぱいにするためにサカタのタネの方から種団子について教えていただき、種を植えました。更には、以前本校がお世話になったことがある鬼塚工務店の方に連絡を取り、教えていただきながら、土入れをし、ベンチを作って、花のステージを大改良しました。鬼塚工務店の方々には、作業日には11名の大工さんたちがいらして、ベンチの作り方やペンキの塗り方をご指導くださいました。周囲の助けがあってこそ成し遂げられたことであり、それによって自分も社会の一員であるという自覚をもち、自らの役割を考えることにつながったと思います。



今後も自分たちにできることを考え、自ら行動できるかなっ子を目指し、大好きな神奈川の「まち」をもっともっと知りながら、地域と共に子どもを育てていきたいと思えます。

今年度、ご支援をいただきました保護者、地域の方々、関係者の皆様に感謝申し上げます。